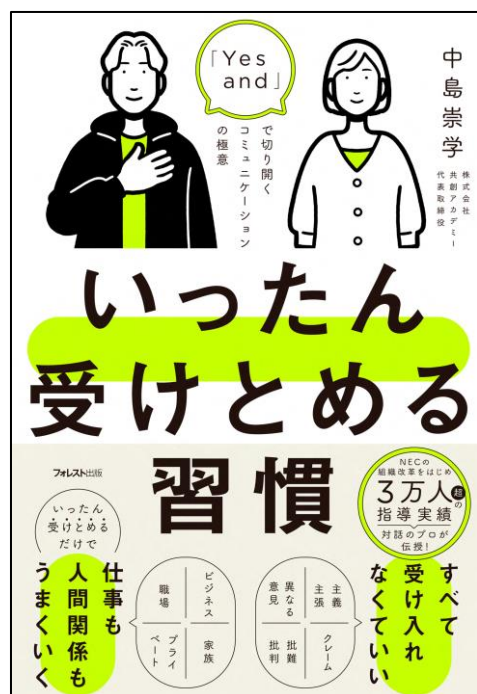


いったん受けとめる習慣

中島崇学



「いったん受けとめる」 それだけで人生はうまくいく

部下が会議で提案したのに「いいんだけどさ……」と否定してしまったことはありませんか。受け答えをした方は否定したつもりはなかったでしょう。でも、言われた方は「自分の気持ちを受けとめてくれなかった」「否定された」と感じてしまいます。こうしたことが続くと、そのうち「どうせ言っても受けとめてくれない」と思い、何も言わなくなってしまう……という悪循環が起きます。

現代の人々のコミュニケーションを妨げている最大の障壁が、この「受けとめていない」という態度にあります。

では、どうすればいいのでしょうか？

答えはシンプルです。

それは・・・「いったん受けとめる」ことです。「いったん受けとめる態度」は相手を否定せず、評価もしない。そうすることで、相手の安心感、話しやすさ、信頼を引きだすことができるようになります。

【CONTENTS】

- 第1章 なぜ、あなたは「受けとめられない」のか
- 第2章 「いったん受けとめる」の土台づくり
- 第3章 「Yes and」で受けとめる方法
- 第4章 好循環を組みだす「Yes思考」
- 第5章 「Yes and」の midpoint と練習方法
- 第6章 「Yes and」の活用事例

【書誌情報】

本体価格-----1600円
 ISBN----- 978-4866803098
 ページ数-----240
 判型-----四六判

【著者】

中島 崇学（なかじま・たかあき）

株式会社共創アカデミー 代表取締役

共創ファシリ塾 塾長

NPO法人はたらく場研究所 代表理事

慶應義塾大学卒業後、NEC入社。人事、広報、組織改革など、社内外のコミュニケーション畑を歩む。特に組織改革では、社内ビジョン浸透のための「3000人の対話集会」の企画実施をはじめ、全社規模での組織開発プログラムを実施。NEC在籍中より社外の仲間と活動開始。会社、家庭以外の「第3の居場所」を創り、そのコミュニティをもとにNPO法人はたらく場研究所を設立。組織開発をテーマに、組織を越えた、横断型勉強会を運営する。これまで養成・指導してきた人材は3万人を超える。著書『一流ファシリテーターの空気を变えるすごいひと言』（ダイヤモンド社）。